自閉症・発達障害支援の今
－本人が本人らしく生活するために－

＊当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。＜承認期間：2022 年 7 月 2 日～2027 年 7 月 1 日　承認番号：20210392＞

＊当講座は（公社）日本公認心理師協会「認定専門公認心理師」の認定にかかるテーマ別研修として登録されています。
＜承認番号：25A-0155、分野共通、5 単位＞

＊特別支援教育士〔S.E.N.S〕更新ポイント認定講座として申請中です。

期　　日：2026 年 3 月 7 日（土）・8 日（日）
受講対象：自閉症・発達障害や特別支援教育に携わる学校関係者のほか、
　　保育・相談に関わる専門職、保護者、臨床心理士、公認心理師等
定　　員：80 名（定員になり次第締切りますので、ホームページなどでご確認ください）
受 講 料：15,000 円（税込）
主　　催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団　　TEL 03-3986-7021
会　　場：明治安田こころの健康財団 講義室　※詳細地図は受講証に添付いたします
　　東京都豊島区高田3-19-10

★☆★ 企画講師 ★☆★　**渡部　匡隆　先生**　横浜国立大学大学院教育学研究科 教授

自閉症・発達障害支援において、本人が本人らしく生きるためには当事者の視点や当事者を中心とした支援が外せません。そのためには当事者の視点や当事者を中心とした支援について、境界知能、カモフラージュ、自閉症・発達障害のある女性のことについて理解を深めていくことが大切になると考えています。また、本人らしく生きていくためには、心身が健康で穏やかで安心した暮らしが基盤となりますが、国立のぞみの園の研究から健康面の課題、犯罪、強度行動障害など自閉症・発達障害のある人の生きにくさをもたらすリスク要因も指摘されています。講師の先生方のご講義を手がかりにライフステージ毎に大切にしたいこと、大切にしてあげたいこと、自分らしく生きていく力を育むための支援について皆様と一緒に考えていきたいと思います。皆様のご参加を心からお待ちしています。　【企画講師　渡部 匡隆】

＜プログラム＞

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

	時　間	テ　ー　マ	講 師（敬称略）
3月7日（土）	10:30～11:50	当事者の視点を大切にした支援	信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授 本田 秀夫
	11:50～12:50	昼食（各自おとりください）	
	12:50～14:10	強度行動障害と本人支援	PDD サポートセンターグリーンフォーレスト 理事長 志賀 利一
	14:20～15:40	診断とカモフラージュ	よこはま発達グループ 代表 内山 登紀夫
	15:50～17:10	インクルーシブな教育と自分らしく生きる力を育む	横浜国立大学大学院 教授 渡部 匡隆
3月8日（日）	9:30～10:50	心身の健康の問題と本人支援	国立のぞみの園 研究・人材養成部長 日詰 正文
	11:00～12:20	境界知能の理解と支援	早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 梅永 雄二
	12:20～13:20	昼食（各自おとりください）	
	13:20～14:40	ライフステージ毎に大切にしたいこと、大切にしたあげたいこと	相模女子大学人間社会学部 教授 日戸 由刈
	14:50～16:10	女の子・女性の困りごとの支援	岐阜大学医学教育開発研究センター 准教授 川上 ちひろ